



令和8年度杉並区立済美養護学校 学校経営計画骨子

< 目指す児童・生徒像 = 学校教育目標 >

輝く子ども — 自他を認め、社会の中で生きる力と生きる喜びを育む —

< 目指す学校像 2つの柱 >

【安心と安全】 児童・生徒が、自他を認め人権を尊重できる学校

【学習の充実】 児童・生徒が、主体的に学習に臨み、自己決定ができる学校

< 具体的な内容 >

【安心と安全】

児童・生徒の生活年齢や発達段階に応じた人権感覚・人権意識・健康の増進・防災意識を高められる教育活動を保障するために、児童・生徒が心身共に安心・安全と感じる教育環境を整えます。

- 教育活動全般において、児童・生徒の生活年齢や発達段階に応じて適切な道徳的視点を設け、自他の理解と人権を尊重できる学習環境を構築します。
- 学校と家庭、学校医との連携を保ち、児童・生徒の健康の保持・増進を推進します。
- 保護者・学校支援本部・教職員の連携により、児童・生徒の安心・安全な学習環境を整え、事故ゼロを目指します。
- 学校支援本部が中心となり、実災害を想定した地域一体型の防災対策を推進します。

【学習の充実】

児童・生徒が、個別に最適化された学びや協働的な学びの中で、身に付けた力を主体的に発揮し自己決定と自立ができるようになるために、学習指導のさらなる充実を行います。

- 児童・生徒が主体的に学習に臨む姿勢を的確に捉えるために、主体性のチェックシートを活用し、児童・生徒が「やってみよう」「やってよかった」と感じられる授業の工夫を行います。
- 個別指導計画や個別の教育支援計画に、自立活動の6区分27項目の学習内容に応じた個別の目標を設定し、個別に最適化された学習や協働的な学習の充実につなげます。
- 教員と学校司書の連携による学校図書館の利用と読書活動を促進し、学習活動に豊かな言語環境を整え、児童・生徒の自己決定力や自立に向けた主体性を伸長できる授業改善を行います。
- 小学部入学から中学部卒業までの9年間の継続した指導を意識し、年間指導計画に系統性をもたせ、生活年齢や発達段階に十分に配慮した進路指導と職業教育の充実をはかります。
- 地域の人的資産等を活用することで、児童・生徒が地域の中で活躍できる場を設定し、自己肯定感や自己有用感を実感できる学習活動を展開します。

< 重点項目 >

- 全ての教育活動において、お互いを認め合い尊重できる心の教育の推進をはかる
- 児童・生徒の主体性を的確に評価し、自己決定の力や自立に向けた学習の充実をはかる
- 特別支援教育のセンター的機能を発揮するための、教職員の専門性の維持・向上をはかる